

作成年月日	平成 28 年 5 月 30 日
作成部局	関西広域連合広域防災局 兵庫県防災企画局・災害対策局

## 平成 28 年熊本地震への対応

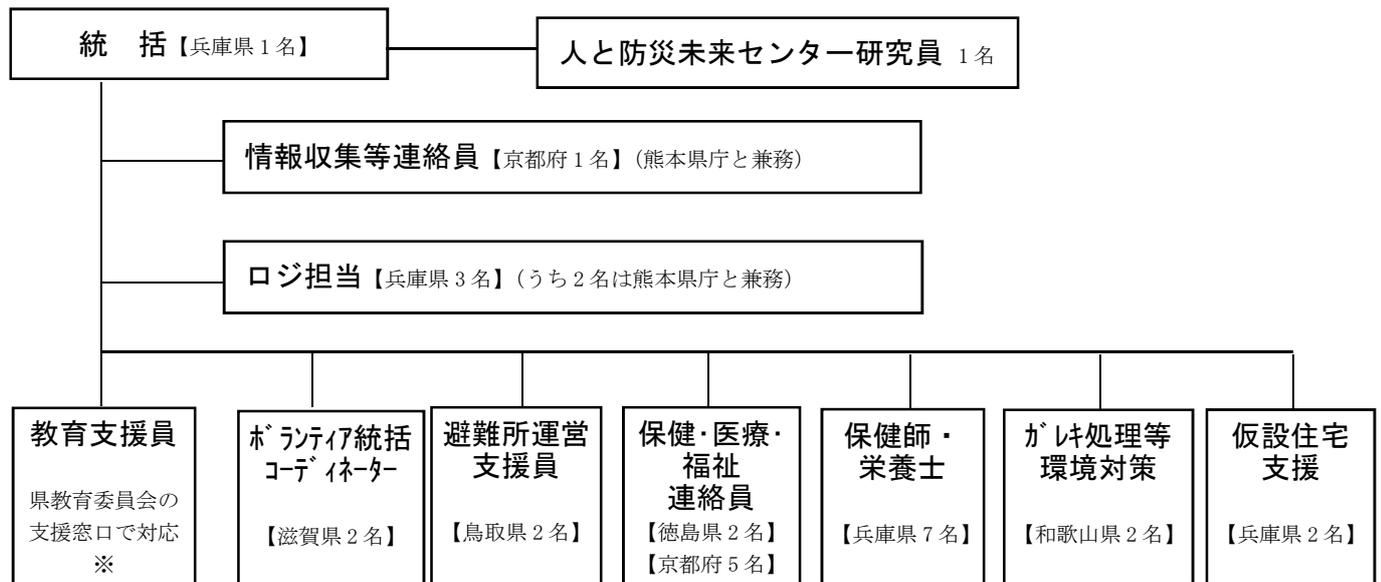
- 1 平成 28 年熊本地震における支援チーム(第 7 陣)の派遣【チーム名簿：別添 1】  
益城町に対し、支援チーム第 7 陣を派遣する。

### (1) 派遣期間

6 月 1 日(水)～6 月 8 日(水)

※当面の間、引き続き 1 週間単位で派遣する。

### (2) 派遣の体制



※ 教育支援員については支援体制を検討中。

計 28 名(うち本県 14 名、関西広域連合構成府県 14 名)

### 【参考：過去の派遣状況】

区分	派遣日	内容
先遣隊	4/14(木)～4/20(水)	・現地情報収集のため、兵庫県職員を先遣隊として派遣(3名)。※4/14(木) 23:00 出発
第 1 陣	4/20(水)～4/27(水)	・経験者を中心に兵庫県職員を派遣(21名)。
第 2 陣	4/27(水)～5/04(水)	・関西広域連合の支援チームとして分野別に各構成団体で担当を定め派遣。 ・新たに「仮設住宅支援」チームを設置。
第 3 陣	5/04(水)～5/11(水)	・食事面での健康対策を強化するため、「保健師」チームを「保健師・栄養士」チームに改編。 ・学校再開に伴い「教育支援員」チームの派遣を中断
第 4 陣	5/11(水)～5/18(水)	・避難中の要介護者、在宅高齢者等への対応を進めるため、「保健・医療・福祉専門員」チームに京都府から保健師等を追加派遣。
第 5 陣	5/18(水)～5/25(水)	・学校再開後の応急教育や心のケア、避難所と学校教育の円滑な運営について助言・支援を行うため、「教育支援員」チームの派遣を再開。
第 6 陣	5/25(水)～6/01(水)	・引き続き支援チームの派遣を実施

## 2 避難所運営・窓口業務支援職員の派遣

今なお約 2,900 名の方が不自由な生活を強いられている避難所の運営や、り災証明業務等、混乱を来す窓口業務を支援するため、益城町に職員を派遣。

派遣者数：6 名（洲本 2 名、宝塚 2 名、淡路 2 名） ※関西広域全体で 42 名派遣

派遣期間：5 月 25 日（水）～6 月 1 日（水）※4 月 20 日から 1 週間単位で継続して派遣

※家屋被害認定については、第 4 陣の派遣（～4/27）をもって概ね完了する見込みであることから、家屋被害認定士の派遣を一旦終了。

## 3 被災者の受け入れ

県営住宅（一時避難所）の提供状況（5 月 26 日現在）

・問い合わせ件数：46 件（うち申請書送付 11 件）

・受け入れ件数：2 件

※参考 県下市町受け入れ件数（5 月 26 日現在）

神戸市営：9 件 西宮市営：1 件 宝塚市営：1 件

[参 考]

職員派遣状況

（5 月 30 日現在）

府県名	現地支援本部 (熊本県庁)	益城町連絡所		大津町連絡所			菊陽町連絡所		計
		チーム派遣	避難所・窓口業務等	連絡員等	窓口業務等	被害認定要員	連絡員等	窓口業務等	
滋賀県		2 人	6 人						8 人
京都府	チーム連絡員兼務	6 人	9 人						15 人
大阪府				1 人	13 人	2 人			16 人
兵庫県	チーム統括及びピア担当が兼務	14 人	6 人						20 人
奈良県	チーム連絡員兼務	1 人	2 人				1 人	1 人	5 人
和歌山県		2 人	7 人						9 人
徳島県		2 人	7 人						9 人
鳥取県		2 人	6 人						8 人
合 計		29 人	43 人	1 人	13 人	2 人	1 人	1 人	90 人

※市町職員を含む(派遣先計：益城町 72 人、大津町 16 人、菊陽町 2 人)

## 4 熊本地震災害ひょうご若者被災地応援プロジェクトの募集【詳細：別添 2】

（ひょうごボランティアプラザ）

日本イーライリリー株式会社（本社：神戸市）から「ふるさとひょうご寄附」（寄附先は兵庫県）を得て「熊本地震災害ひょうご若者被災地応援プロジェクト」を創設。

大学・高等学校・専門学校等に通う学生など、ひょうごの若者が今後も継続して熊本地震災害の被災地を応援するプロジェクトに対して経費を助成することにより、被災地復興を支援するとともに、今後の被災地支援を担う人材を養成する。

○事業の実施期間：平成 28 年 6 月～29 年 3 月

○助成対象経費：①活動費（消耗品費、印刷費、使用料・賃借料など）

②旅 費（被災地への往復及び被災地内での交通費、被災地での宿泊費）

○募 集 期 間：平成 28 年 6 月 1 日（水）から平成 28 年 6 月 10 日（金）必着

## 熊本地震支援派遣チーム名簿 [第7陣]

## 1 派遣期間

平成28年6月1日(水)～6月8日(水) [7泊8日]

[派遣先：益城町現地連絡所]

## 2 派遣者

現区分	氏名	所属・職名	備考
統括(1名)	西川 俊信	神戸県民センター県民交流室長	東日本派遣経験者
人と防災未来センター(1名)	宇田川 真之	人と防災未来センター研究主幹	
情報収集等連絡員 (1名)	京都府(1名)		熊本県庁兼務
ロジ担当(3名)	高崎 和則	復興支援課 副課長	
	原田 信也	管財課 主幹(車両担当)	東日本派遣経験者
	高見 翔	企業庁総務課 職員	
ボランティア総括コーディネーター (2名)	滋賀県(2名)		
避難所運営支援員 (2名)	鳥取県(2名)		
保健・医療福祉連絡員 (7名)	徳島県(2名)京都府(5名)		
保健師(4名)	八木 敏子	伊丹健康福祉事務所 副所長兼健康管理課長	東日本派遣経験者 5/30 派遣
	佐々木初美	丹波健康福祉事務所 副所長兼健康管理課長	5/30 派遣
	藤原 晶子	加東健康福祉事務所 健康管理専門員	東日本派遣経験者 5/30 派遣
	尾畑ちはる	朝来健康福祉事務所 課長補佐	
栄養士(1名)	奥野 千明	豊岡健康福祉事務所 職員	5/30 派遣
支援員(2名)	奥村 太輝	農地整備課 職員	
	正木 孝幸	契約管理課 職員	
がけ処理等環境対策 (2名)	和歌山県(2名)		
仮設住宅支援 (2名)	西宮市(2名)		

計 28 名 (うち本県 14 名、関西広域連合構成府県 14 名)

〔問い合わせ〕 関西広域連合広域防災局広域企画課 Tel 078-362-9806  
 (兵庫県企画県民部防災企画局防災企画課広域企画室) Fax 078-362-9839



## 熊本地震災害ひょうご若者被災地応援プロジェクトの募集

ひょうごボランティアプラザでは、日本イーライリリー株式会社（本社：神戸市）から「ふるさとひょうご寄附」（寄附先は兵庫県）を得て「熊本地震災害ひょうご若者被災地応援プロジェクト」を創設しました。

大学・高等学校・専門学校等に通う学生など、ひょうごの若者が今後も継続して熊本地震災害の被災地を応援するプロジェクトに対して経費を助成することにより、被災地復興を支援するとともに、今後の被災地支援を担う人材を養成します。

多くのひょうごの若者のみなさまからの応募をお待ちしています。

### 1 助成団体・グループ

県内在住、在学、在勤の若者5名以上で構成された団体・グループ（15歳以上（中学生は除く）35歳未満の者を主体とするものに限ります。）

代表者は20歳以上とします。なお、活動参加者全員が未成年者の場合は20歳以上の引率者が必要です。※年齢は申請時点とします。

### 2 助成事業

熊本地震被災地において活動する事業で、次のすべての要件を満たすものとします。

- (1) 被災地の活動について、受入・協働先の団体・グループ、施設等の同意を得るなど事前に計画された活動であること。
- (2) 被災地で2日以上支援活動を行うものであること。
- (3) 被災地での活動終了後、報告会・学習会等を実施し活動の成果の共有・評価を行うこと。

#### 【活動内容の例】

- ① 被災者の暮らしやまちの復興につながる活動  
(避難所・仮設住宅の支援活動、被災地のコミュニティ活動の支援等)
- ② 被災者への励ましにつながる活動  
(災害等により損傷した写真の修復活動、傾聴ボランティア活動等)
- ③ 被災した子ども達の心と身体の復興支援  
(避難している子どもの支援活動、被災地と兵庫県の子どもの交流活動等)
- ④ 被災高齢者の見守り・生きがいつくりにつながる活動  
(被災高齢者が講師となった昔の遊び・伝承事業、ふれあい喫茶等)
- ⑤ 被災地のまちなにぎわいつくりにつながる活動  
(被災地域での特産品PR支援、まちの再発見マップづくり等)
- ⑥ その他、被災地の地域づくり活動の活性化支援等  
(手作り作品の販売による収益金寄附活動)

### 3 事業の実施期間

平成28年6月～29年3月

## 4 助成対象経費・助成限度額・募集事業数

### (1) 助成対象経費

次に掲げる経費の実費（領収書のあるものに限る）を助成します。

- ① 活動費（消耗品費、印刷費、使用料・賃借料など）
- ② 旅 費（被災地への往復及び被災地内での交通費、被災地での宿泊費）

〔対象外経費〕

- ・経済的でない経費（グリーン車等の利用料金、高額な宿泊費等）
- ・食糧費 ※炊出しボランティアや交流活動等の食材費は対象となります。
- ・謝金・報償費
- ・被災地での支援活動として必要性が低い経費（お揃いのTシャツ・ビブズの作成等）

(2) 助成限度額 上限20万円 ※概算払い（上限1/2）も可能です。

(3) 募集事業数 15組程度

## 5 募集期間

平成28年6月1日（水）から平成28年6月10日（金）必着

採択数が募集事業数に達しない場合は、夏休みまでに、二次募集を行います。

## 6 応募書類・応募先

(1) 応募書類は「ひょうごボランティアプラザ」のホームページからダウンロードしてください。

(2) 応募書類の提出

持参による応募を原則とします。（郵送による場合は事前相談が必要）

ひょうごボランティアプラザ

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー6階

〈ホームページ〉 「ひょうごボランティアプラザ」のトップページで「熊本地震災害

ひょうご若者被災地応援プロジェクトの募集について」をクリック

<http://www.hyogo-vplaza.jp/>

(3) 相談

事業計画や記載方法について疑問等がありましたら、ひょうごボランティアプラザ（下記8）にご相談ください。

## 7 助成事業の決定

所定の実施計画書等を提出していただき、選考委員会において、事業内容などを審査したうえで決定します。結果は6月末ごろに申請団体・グループに通知します。

## 8 お問い合わせ・相談窓口

◇ひょうごボランティアプラザ

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー6階

電話078-360-8845

（月曜から金曜 9:00～17:00）